

37 コロナワクチン接種関連について

【問】

① ワクチン接種体制について

先日、菅総理大臣が高齢者（65歳以上）接種を7月末までに終えたいとの表明があった。そこで、現在把握できている部分でいいので、状況を伺いたい。

【ワクチンが希望どおりに入ると仮定】

- (1) 市内で、1日に接種可能なおおよその人数
- (2) 接種が終わる時期の見込み

② 接種予約体制について

各自治体で接種予約が始まった。近隣の小山市では、開始すぐに予約が終了したほか、コールセンターがパンクに近い状態だったと伺っている。

また、高齢者のWEBの予約は難しいことから、代行する仕組みづくりをした自治体もある。一方、自治体の規模にもよるが、WEBのサイトに繋がらないといったことも確認されている。それを踏まえて伺う。

- (1) 受付する電話の回線数（最大同時に何人まで予約受付の対応可能か）
- (2) WEB予約の同時接続数の上限
- (3) 高齢者の予約サポートは考えているか。
- (4) 障がい者に対するサポート体制は考えているか。（メールやFAXでの問合せに対する体制はどの程度の規模か）

③ ワクチン接種に対するリスクとベネフィットの説明について

新型コロナワクチン接種について市ホームページには、「接種部位の傷み、発熱、頭痛などの「副反応」が生じる可能性があります。重篤な副反応は、あるとしても極めてまれと考えられています。」と書かれている。先行接種が始まり、ある程度のデータも蓄積されてきている。接種部位の傷み、発熱、頭痛が、どの程度のもので、どの程度の人になっているかを含めたデータを掲載することも必要ではないかと考えるが、見解を伺いたい。

【答】

①令和3年3月に作成した佐野市新型コロナウイルスワクチン接種実施計画に従い、佐野市医師会の協力のもと接種を実施する。

- (1) 個別接種 4,300/週
 集団接種 700/週（土・日曜日）
 合計5,000/週 ÷ 7日 ≒ 715人/日
- (2) 8月中旬

②

- (1) コールセンター回線数 10回線
直接、各医療機関での予約受付 46医療機関
(佐野厚生総合病院、外2か所の医療機関で専用ダイヤル設置)
- (2) 2,000人の同時アクセスを想定し設定。
(16万人に対して2,000強で問題ないとの事例より)
- (3) コールセンターでの対応を丁寧に行う。
かかりつけ医療機関で直接予約対応していただけることが、安心につながると考える。
- (4) メール、FAXでの問合せにも対応可能。

③ 6月1日に配布する全戸チラシにて周知予定。また、必要に応じて広報さ
のに折込みチラシを入れ周知を図る他、市ホームページ等での掲載により
周知。

(健康増進課 R3.4.30 回答)